

Japan Water Agency
水機構 ニュース

NEWS

「水機構ニュース」では、水資源機構からの最新ニュースを中心に、水にまつわるさまざまな情報をお届けします。

淀川
水系

●川上ダム（三重県）
本体打設最終章へ！
～タワークレーン1号機クライミング&350tクローラクレーン始動～

川上ダム本体打設もいよいよ終盤にさしかかり、打設完了に向けた作業を進めております。川上ダム建設所で発行している「川上ダム通信」より、本体打設最終章を迎える工事現場の最新のトピックをご紹介します。

川上ダム



完成予想図▶

川上ダムは、三重県伊賀市の木津川上流に建設を進めている総貯水容量3,100万m³の重力式コンクリートダムで、2022年度に完成予定です。令和元年9月から開始した堤体コンクリート打設は昨年12月に40万m³を超え、全体打設予定量45万m³の約9割に達しました。

〈タワークレーン1号機クライミング〉

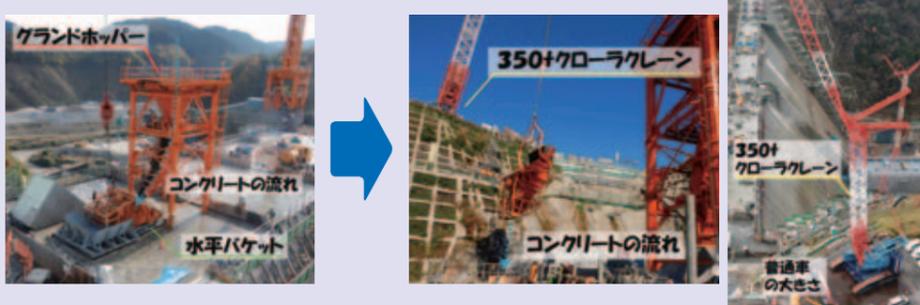
川上ダムの堤体コンクリート打設では2機のタワークレーンが活躍しています。タワークレーンとは、敷地が狭く重機などの設置スペースのない高層ビルの建築などでも欠かせないクレーンで、マスト（中央の柱部分）を自ら吊り上げて継ぎ足し、そこを登っていくことで高くなります。令和2年12月26日から12月31日にかけてタワークレーン1号機の高さが55mから76mへと、21m高くなりました。8月に93mになったタワークレーン2号機とあわせて、川上ダム本体打設完了に向けた作業を着々と進めています。



〈右岸天端の350tクローラクレーン始動〉

本体打設が進捗したことで打設面が左右岸方向へ広がり、タワークレーン2号機では届かない範囲が右岸側に発生します。そのため、右岸天端に移動式のクレーン（クローラクレーン）を設置して、タワークレーンでは届かない範囲の打設を行います。

打設は、堤体上（タワークレーン2号機の届く範囲）にコンクリートを仮受けするための装置（グラントホッパー）を設置し、そこで一度コンクリートを受け、コンクリートを入れて運搬する装置（水平バケット）に移し、350tクローラクレーンを用いて施工します。



「川上ダム通信」では、今回のトピックを含め、工事の進捗状況などをご紹介します。是非ご覧ください！

川上ダム通信QRコード▶



豊川
水系

●豊川用水総合事業部（愛知県）
水源管理所一日管理所長体験
～全日本中学生水の作文コンクール受賞者が
水源管理所の一日管理所長として業務を体験！～

令和2年12月25日、「第42回全日本中学生水の作文コンクール」にて「農林水産大臣賞を受賞した河邊心那さん（愛知県豊川市立南部中学校）に水源管理所一日管理所長を委嘱しました。

当日は委嘱書交付の後、顔写真入りのオリジナル名刺で人生初の名刺交換を体験し、着任の挨拶をしました。その後、利水放流量の変更指示、電子決裁といったパソコン作業のほか、施設点検や貯水池巡視など現場作業についても体験していただきました。



委嘱書の交付



電子決裁



貯水池巡視



河邊心那さんの感想

水源管理所に来て、一番最初に感じたことは大きな施設なので、もっと多くの方が働いていると思っていました。普段は入れないところに入ったり、特に巡視船でダム湖の上流域まで行って、大きな岩を近くで見たり、湖上からダムを見ることができて楽しかったです。

利根川
水系

●千葉用水管理所（千葉県）
令和元年房総半島台風等の大雨による災害支援に対する
感謝状をいただきました！

令和元年の9月の台風15号（房総半島台風）では記録的暴風による建物等への被害と長期の停電、10月の台風19号（東日本台風）では東日本広域に亘る風水害、そして10月25日の記録的豪雨による県内各地での被災等、令和元年は千葉県内で度重なる風水害に襲われた年でした。

今般、千葉県知事より機構に対し、そうした災害時における県浄水場や自治体への支援に対して大きな功績があったとして感謝状の贈呈がありました。なお、贈呈は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため郵送での贈呈となりました。

水資源機構の平成30年度からの第4期中期計画では、災害時における他機関への支援が新たに位置付けられたこともあり、今後も地域の災害時においては、機構の技術力と備蓄資機材等を活用して地方公共団体等への支援に努めていきます。



読者の声



読者の皆様から寄せられた「水とともに」2020・冬号へのご意見・ご感想を紹介します。

表紙の『進撃の巨人』像は大山ダム の迫力に拍車をかける、圧巻!!! (60代・男性)

ダム の治水対策について、今まで知らないことが多かったのですが、分かりやすく記事にまとめられていたので理解しやすく、勉強になりました。(30代・女性)

取り上げられていた牧尾ダムのように、ダム の防災操作が効果を発揮し人々の暮らしの安全に貢献した、という風な報告はこれからも積極的にしてほしい。世の中のダム のイメージ向上、ダム操作への適切な理解が深まるような記事を楽しみにしております。(10代・男性)

「Topics」は「水とともに」の今まで見られなかった分野でしたが、とても参考になりました。違う分野のことが載っていてもよいなと感じました。

(50代・男性)

ここ最近のYouTubeの充実ぶりはとても良いと思います(ダムアワードでも少し話が出ていましたね)。特にバーチャルダム見学ツアーはとても素晴らしいと思います。作成も大変だとは思いますが今後も是非拡充して頂きたいと思います。又、この「水とともに」でもYouTubeを紹介して頂きたいと思います。(50代・男性)

生活に直結した、香川用水の特集は楽しいカンジが伝わってきて行ってみたいになりました。ダムだけでなく、エリア周辺の情報なども図や写真入りであってわかりやすく楽しめました。第2回もたのしみにしています!(30代・女性)

広報誌「水とともに」

2021 年度読者のモニター募集

水資源機構では、広報誌「水とともに」の誌面づくりに貴重なご意見をいただくため、2021 年度読者モニターを、次のように募集します。

募集要件

年4回、広報誌をご覧ください、そのアンケートにご協力いただける方

モニター期間

2021年夏号～2022年春号

募集人数

30名程度(応募者多数の場合は抽選とします。)

応募方法

- ①お名前(ふりがな) ②性別 ③郵便番号・御住所
- ④年齢 ⑤ご職業 ⑥お電話番号
- ⑦アンケート返信用封筒の要否
(メール・FAXでアンケートを送付される方はその旨ご記載ください)

を記載の上、官製ハガキもしくはEメールにて、ご応募ください。

応募郵送先

〒330-6008 さいたま市中央区新都心11-2
水資源機構総務部広報課(広報誌担当)あて

Eメール

water_koho@water.go.jp

応募締切

2021年4月12日(月) 消印有効

発表

発送をもって替えさせていただきます。

その他

- ご提供いただいた個人情報については、本件に関するもののみ使用するものであり、厳重に取り扱うことはもとより、本人の許可なく開示・提供いたしません。
- 読者モニターを対象とする水資源機構の施設見学会などを企画する予定です。
- 感染症拡大防止のため、施設見学会の開催を見送る場合がございます。

